



跡地活用を検討中の旧庁舎

公共事業不正入札疑惑の真相解明を！ 厳しく問われる 現職区議の政治的道義的責任

10月6日の決算特別委員会。木村正明議員は、党区議団に寄せられた「告発文」などの資料と関係者の証言をもとに、現職議員が関与した不正入札疑惑問題を取りあげました。論戦の核心部分について報告します。

2つの焦点

ひとつは、平成8年の秋口のことです。区施設の新築工事の受注をねらう事業者などから料亭での接待をうけ、さらに「お車代」などとして40万円の現金を受

領していた問題です。受領は本人も認めており、賄賂性がないとしても政治的道義的責任が厳しく問われます。

もうひとつは、かつての小学校の校舎解体工事の入札にあたって、談合行為に深く関与した疑惑です。関係者の証言によれば、当該議員は最低制限価格を予定価格の80%に設定するように指示し、さらに「指名業者はここから」と事業者名がかかれたリストを手渡したといえます。公共事業は税金でおこなわれます。時効にはなっています。議員が入札に関与し、事業者などからお金をもらっていたとしたら、あっせん収賄罪にあたります。

調査委員会の設置を

党区議団は、調査特別委員会の設置を他党派と共同で提案しました。残念ながら、自民・公明・当該議員などの反対で否決になりました。

しかし、真相にふたをすることは許されません。区役所旧庁舎跡地の活用など、今後区も公共事業はつづきます。不正入札疑惑の真相を解明し、その教訓を今後の公共事業に生かすことがとめられ

ます。
正念場は第4回定例会です。調査特別委員会を設置し真相解明に全力をつくします。

区民アンケートへのご協力 ありがとうございます

これまでに250人を超える方からアンケートの回答を頂いています。

今回は、介護保険制度から10年という節目の年に当たり、介護保険制度で見直してほしいことを質問項目に入れました。「年金が月4万なのだから保険料を払わないといけない。どうやって生活するのか」(錦町・女性)「ヘルパーさんの給与をせめて公務員の8割ぐらいに」(魏町・男性)「特別養護老人ホームが足りない。入りたいです」(九段南・女性)など様々な声が寄せられました。

厚労省の介護保険見直し案では軽度者への利用料負担増、生活援助の縮小や40歳未満からの保険料徴収など制度の改悪が狙われています。日本共産党はこうした制度改悪を許さない運動とともに、待機者ゼロの特養ホーム建設を求めるとりくみなどに力をつくしていきます。

引き続き、区民アンケートへのご協力をよろしくお願ひします。次号で集約結果をご報告いたします。

法律・生活相談

身近な問題から法律相談まで、みなさんの立場にたって、ともに解決の道をさぐります。お気軽にご連絡ください。

日本共産党千代田区議団控室(直通)

☎ 03-5211-4324

FAX 03-5275-6898



木村 正明

九段南4-7-22 メゾン・ド・シャル-405
3265-2979
Eメール kimura24@agate.plala.or.jp



飯島 和子

富士見1-5-3 NTハイム406
3222-7783
Eメール kazuko4685@yahoo.co.jp



福山 和夫

神田小川町2-4フィールドクレストビル10階
3291-0232
Eメール kfukuyama02@yahoo.co.jp



区議団事務局長
牛尾耕二郎

岩本町1-12-12-301
3863-6756
Eメール k-ushio@beetle.ocn.ne.jp

住みつづけられる千代田を 日本共産党千代田区議団だより

発行／日本共産党千代田区議団 九段南1-2-1 ☎ (5211) 4324 ㊚ (5275) 6898
Eメール jcp-chiyoda@kamogawa.seikyou.ne.jp

18歳までの医療費 無料化が実現します



「区民アンケートを前に、左から福山和夫、飯島和子、木村正明の各区議。牛尾こうじろう区議団事務局長。(区議団控室にて)」

第3回定例区議会を終えて

区議会第3回定例会で石川雅己区長は、来年度から子ども医療費の無料化を18歳まで拡充する考えを表明しました。

医療費助成制度の創設から18年、区民の粘り強い運動が無料化をここまで前進させてきました。入院時の給食が助成対象からはずされるなど課題は残っていますが、区民のみなさんとともに私たち区議団も今回の区長の態度表明をこころから歓迎します。

日本共産党区議団は、子ども医療費の助成制度の創設と拡充に一貫してとりくんでまいりました。区議会の本会議で質問した回数は20回を超え、条例案も2回提案してきました。また、「18歳までの拡充を」という区民の声をいちはやくとりあげ、その声を実らせる論戦と活動に全力を上げてきました。

引き続き、子育て支援をいっそう充実させ、子育て世代が安心の区政をめざし力をつくします。

2010年 11月
日本共産党千代田区議団

木村 正明
飯島 和子
福山 和夫

「基づき論戦。住民要求実現に全力

2009年度決算審議で日本共産党区議団は、「区民アンケート」などに寄せられた、区民の声を実らせる論戦を行い、提案に力を尽くしました。同時に区民の目線で区政をチェックしました。



代表質問

木村 正明

「持続可能」なまちづくりにむけ、3つの転換を提案

第1は、超高層ビル建設をすすめる「都市の成長」から、それを抑制する「都市の管理」への転換です。

区の地球温暖化対策推進計画(素案)は、「活発な経済活動」で床面積が毎年20万㎡〜30万㎡も増えるのが前提です。これは、東京駅前の新丸ビル(床面積は約20万㎡)規模のビルが毎年増え続けるのと同じことです。これで地球温暖化対策がまともに機能するでしょうか。

第2は、人権と福祉のまちづくりへの転換です。

まちづくりの目的は、「区民が人間として尊重され、…人間性豊かな地域社会」(千代田区住宅基本条例)をつくることです。そのためには、居住の保障を軸に、特養ホームと保育園の整備、まちのバリアフリー化などを積極的にすすめるべきではないでしょうか？

第3は、マンション施策の抜本的強化です。

今日、区内の少ないマンションが「建物の老朽化」と「住民の高齢化」という2つの老いに直面しています。それだけにマンション住民を全力でバックアップするしくみが必要です。具体的に、マンション担当課の創設と、「条例」の制定に向けて住民・関係者と協議を開始することを求めました。



一般質問

飯島 和子

教育予算を大幅にふやし、教育現場の環境向上を

文部科学省の調査では、「うつ傾向」の自覚症状を訴える教員は一般企業の2・5倍に及び、その原因の第一に「仕事量、多忙さ」があげられました。

区立学校の教員が、各種打ち合わせや書類の作成、テストの採点などにおわれ自宅持ち帰りや土日出勤で処理せざるをえない現状を改善し、子どもとゆつくり向き合ったり、授業の準備

ができるよう、多忙化解消をはかると同時に、非常勤教師の待遇改善を求めました。

また、文科省は少人数学級の必要性を認め、基本は35人学級、8年後には小学校低学年を30人学級にする計画を発表しました。30人学級が世論になっている中で、区立小中学生の46%が30人以上の学級で学んでいます。区独自で30人学級に踏み出すことを求めました。



一般質問

福山 和夫

エレベーター 2012年問題

製造中止から25年以上経過したエレベーターの部品が2012年頃に集中してなくなると言われています。古い中小ビルの密集する千代田区としての対応を求めました。

高齢者の安心のために

熱中症対策として低所得者にクーラー設置と、夏冬の冷暖房費の手当助成制度をつくること。2カ所のあんしんセンターを体制強化し、孤立化した高齢者の状況把握をおこなうことを提案しました。

また、未利用の旧福祉会館跡地を特養ホームなど、高齢者の安心の拠点にすることを求めました。

求が反映されなくなる、「はり・灸・マッサージ・人間ドック」など保険事業は存続できるのかなど質しました。①区長は、広域化は、被用者保険と国保を統合する一元化を見据えたものであるべきとの持論を述べました。②区が保険者でなくなっても、区が区民の声を受け止め、対応する。③保険事業はサービス低下にならないよう配慮するとの答弁がありました。

また、失業時などの窓口負担の減免・猶予制度について全く活用されていないこと、周知不足を指摘しました。区は、わかりやすく詳細に記載し、「国保だより」等にも掲載すると改善の答弁がありました。

国民健康保険の

「広域化」について

政府は、国保を市区町村単位から都道府県単位に広域化し、一般会計からの繰入をなくす方針です。これでは、保険料が大幅に引き上げられ、住民要



第3回定例区議会
9/10~10/8

「区民アンケート」の声に基づ

区民の声が区政を動かす

子育て安心

◇こどもの予防接種助成の拡充と 私立認可保育所の設置

子どもの予防接種への助成と保育所増設は子育て世代からの強い要望です。今定例会では、「こどもの予防接種の助成拡充」(別掲参照)と併せて、保育待機児の解消に向け「私立認可保育所整備」のための補正予算が成立しました。

◇公園の分煙化すすむ

公園での喫煙者が増え、区民から「子どもが遊べない」という苦情が出ています。この間、改善のための検討が議会や庁舎内で行わ

ワクチン接種は以下の通りです



①インフルエンザワクチン

- 助成対象…0歳~15歳
- 助成回数…0歳~15歳 (2回)
- 13歳~15歳 (1回)
- 助成額…2分の1補助

②子宮頸がんワクチン

- 助成対象…中学1年~3年の女子
(当面高校3年まで)
- 接種回数…3回
- 助成額…限度額45,000円

れていました。その結果、乳幼児が日常的に利用する施設に隣接する狭い公園・児童遊園は禁煙に向けて調整していくことになり、当面、外濠公園(市ヶ谷見附交番裏)と俣橋児童遊園の喫煙スペースを改善することになりました。

お年寄りも安心

◇補聴器購入の助成

高齢になると、耳が遠いために会話に支障がでることが多くなります。

このようなことが“ひきこもり”の原因にならないよう、補聴器購入の助成制度を求めました。区は、「区民から要望も聞いているので、制度を研究している」と答弁しました。

◇区の出張所単位で高齢者をささえる施設を

今定例会で低未利用の区有地が27ヶ所あることが明らかになりました。今後、区民福祉向上につなげるため、住民参加のもとでの議論が求められます。また、区長は出張所ごとにお年寄りの施設を建設する考えを明らかにしました。

決算審議で明らかになった

石川区政の

3つのめざし

09年度決算では、介護保険施設に対する支援が強化され、在宅支援ホームヘルプサービスも充実されました。しかし、全体として、次の3つの問題点がありました。

第1は

「官から民へ」の路線が深刻なゆきづまりに直面していることです。た

第2は

都市再生と区民の願いとの矛盾で区民の切実な願いです。ところが、「活発な経済活動と都市機能の更新に伴い、業務床面積の増加が見込まれ、CO2排出量は今後多くなる」というのが区の考えです。

第3は

区政運営です。「税金の無駄遣い」と批判の強かった江戸天下祭は中止に、「区長の政策形成を支援し、意思決定を補佐する会議体」とされる政策会議も見直しするなど、区民と職員の頭越しの区政運営では、早晩ゆきづまざるをえないことが明瞭になりました。区政運営のあり方を「住民が主人公」に切り替えるべきです。

高齢者入院時負担軽減条例を提案

現在、千代田区は、75歳以上の方が入院時、病院内で使用する洗濯代、テレビリース代、日用品など医療保険外の費用を、月額2万円・年間10万円を限度として助成しています。助成を活用した方からは、「入院という大変な時に助かる」と喜ばれる制度です。同時に「一番重い負担は、差額ベット代と食費。助成対象に加えて欲しい」との切実な要望もあります。

区議団は、この声を「要望書」にまとめ署名をそえ区長に提案。区議会には「差額ベット代、食費」も助成対象として拡充する条例案を提出しました。結果は、賛成少数で否決となりました。

1982年までは、老人医療費は無料でした。それが今では、後期高齢者医療制度で、重い負担と差別を強いられています。

区民のみなさんの声を力に、高齢者医療費無料化にむけ、取り組んでまいります。



要望書を提出する党区議団 (9月13日)